やいろちゃんのもり





やいろちゃん公式ホームページから、
絵本やぬり絵をダウンロードできます

監修：NOP法人 環境の杜こうち　福永秦久　絵：ヤマサキハジメ　発行：ミタニ建設工業株式会社
この絵本は間伐材を使用しています。

こうちけんの　とある　もりに、
ちいさな　とりの　やいろちゃんが　すんでいました。
やいろちゃんの　もりは、
おひさまの　ひかりを　いっぱい　あびて
とっても　げんき。
きぶんも　ウキウキ。
やいろちゃんは、きょうも　げんきに
パトロールに　でかけます。



くまさんが　きを　ぬいています。
きが　たくさん　ありすぎると、はっぱや　つちに
たいようが　あたらないからです。
たいようの　ひかりを　いっぱい　あびた　きや　くさは
げんきに　そだって、ねっこを　ぐんぐん　のばし
じょうぶな　つちを　つくります。
「くまさん、ごあんぜんに！」やいろちゃんが　いいました。

イノシシさんは、みちを　つくります。
けわしい　やまみちが、
どんどん　きれいに　なっていきます。
イノシシさんが　みちを　つくってくれた　おかげで、
くまさんが　ぬいた　きを
あんぜんに　はこぶことも　できます。
「イノシシさん、ごあんぜんに！」
やいろちゃんが　いいました。





リスさんは　ドングリを　ひろい、
ウサギさんは　くさを　つんでいます。
みんなの　たべものを　あつめて　いるのです。
やいろちゃんの　もりでは　みんなが　ちからを　あわせて、
なかよく　くらして　います。
「リスさん、ごあんぜんに！　ウサギさん、ごあんぜんに！」
やいろちゃんが　いいました。

となりの　もりに　すむ、
カラスくんが　いいます。
「 もりを　げんきに　するなんて、
そんなの　むだ、むだ！」

カラスくんたちが　すむ　もりは、
きや　つちも　げんきが　ありません。
「 カラスくん、ごあんぜんに 」
やいろちゃんは　しんぱいそうに　いいました。





あるひ、おおきな　くろい　くもが　やってきて、
たくさんの　あめを　ふらせました。
なんにちも、なんにちも、
たくさんの　あめが　ふりました。
やいろちゃんの　げんきな　もりは、
おおあめが　ふっても　へっちゃらです。
みんな　あまやどりをして
あめが　やむのを　まちました。

いっぽう、カラスくんの　もりは、
おおあめの　せいで　きが　たおれ、
やまが　くずれて、みんな　おおあわて。
イノシシさんの　つくった　みちを　とおって、
やいろちゃんの　もりに　にげてきました。

カラスくんたちは　きづきました。
もりを　まもることは、じぶんたちを　まもることなんだと。



それから、カラスくんたちは　もりを　たいせつに　しました。
カラスくんたちは、もりが　だいすきに　なりました。
もりは　すくすく　げんきに　なりました。

「 カラスくん、ごあんぜんに 」
やいろちゃんは　うれしそうに　いいました。

